

消防年報

2023

上尾市消防本部



A

GEO

FIRE

DEPARTMENT



令和5年度刊行

は し が き

市民・町民の皆様には、消防業務に対し深い御理解と御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

近年の社会経済の著しい進展に伴い各種災害は複雑多様化され、人命危険と社会不安が増大し、防災上新たな課題となっております。

このような情勢下において、令和5年4月1日上尾市・伊奈町消防広域化がスタートし、消防体制の充実強化を図りました。我々消防機関は、市民・町民の皆様が安全で安心な暮らしができるよう、より一層消防力の充実と技術の向上を図り、各種災害に対処していく所存です。

この年報は、令和4年度における上尾市・伊奈町の消防現勢と諸般の資料を収録したもので、今後の消防行政の参考に資するとともに、消防業務の実情を広く紹介することを目的に編集いたしました。

内容につきましては、施設及び人員に関しては令和5年4月1日現在で、その他は原則として会計年度で収録してありますが、火災、救急等については暦年で作成してあります。

この年報により、消防業務についてなお一層の認識を深められ、防火、防災体制の確立を図り、住み良い上尾市・伊奈町を築くため、特段の御協力をお願いいたします。

令和5年9月

上 尾 市 消 防 本 部

【上尾市】

市章



上尾の「ア」の頭文字を鋭く描いて、
進展の象徴とし円形は円満・団結を
表現したものです。

昭和41年7月1日制定

アッピー



あげおの「ア」、上尾の向上を意味する
「アップ」、さらに幸せの「ハッピー」を合わせた
「アッピー」です。

【伊奈町】

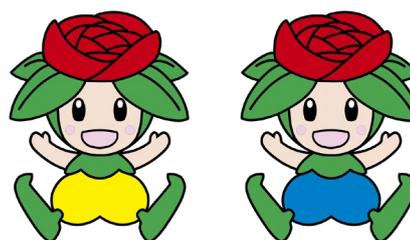
町章



「いな」を花卉に図案化、住民が団結し
手を取りあつて輪をつくり、花のような
美しい地域をつくるという意味です。

昭和45年11月1日制定

伊奈ローズちゃん・伊奈ローズくん



伊奈町制施行記念公園の
バラ園で誕生した
双子のバラの妖精です。

目 次

上尾消防のあゆみ・・・・・・・・・・	1	危険物施設数・・・・・・・・・・	34
		危険物施設数の推移・・・・・・・・	36
		危険物施設に係る申請等の件数	37
現 勢		火 災	
概 要		火災の発生状況・・・・・・・・	39
上尾市と伊奈町の概要と位置	10	主な火災原因・・・・・・・・	44
消防予算・・・・・・・・	11	用途別火災発生状況	45
消防関係要覧・・・・・・・・	12	救 急	
消防機構図・・・・・・・・	13	年別救急出動・搬送件数	47
事務分掌・・・・・・・・	14	曜日別・月別出動件数	48
		年齢区分別等搬送人員	50
消防力 施設・職員・通信・消防水利		ドクターヘリ・ドクターカー	52
庁舎施設概要・・・・・・・・	17	救命講習会実施状況	53
現有車両配備状況	19	救 助	
消防用資機材保有状況	21	救助活動状況	54
緊急消防援助隊	23	通信指令	
大規模災害対策資機材整備事業	24	119番受信状況	55
消防力の整備指針	25	緊急通報・医療機関案内	56
年齢及び階級吏員数	26	気象状況	57
教育・訓練実施状況	27		
消防水利	28	消 防 団	
消防音楽隊	29	消防団	
防災体験コーナー	30	消防団のあゆみ	59
		消防団概要	61
統 計		消防団施設	62
予 防		消防団員定数及び実員	63
防火対象物数及び立入検査件数	31	階級別消防団員数	63
防火防災訓練指導件数	32	車両配置表	64
消防同意件数の推移	32	職業構成及び就業形態	64
消防法令に基づく各種届出件数	33		
市火災予防条例関係届出件数	33		



上尾消防のあゆみ

昭和30年	1月	1日	上尾町、平方町、原市町、大石村、上平村、大谷村の3町3村を合併し、上尾町連合消防団として発足、連合消防団長に八木信一氏が就任、48分団に区分し、常備消防団員2名、消防団員873名、水槽付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車5台、三輪車2台、可搬式動力ポンプ38台、腕用ポンプ2台をもって業務を開始する。
昭和33年	4月	1日	消防機構改革を行い、名称を上尾町消防団に改め8分団に縮小、常備消防団員4名、消防団員163名、消防ポンプ自動車7台、可搬式動力ポンプ1台とし、初代消防団長に下里金太郎氏が就任する。
		7月15日	市制施行に伴い、名称を上尾市消防団に改める。
昭和40年	4月	1日	上尾市大字上尾宿263番地に消防本部並びに消防署を開設し、水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ)1台を配備し、職員18名をもって発足する。
		1日	初代消防長に桜井安太郎が就任する。
	6月	1日	消防職員4名を採用、22名となる。
	7月	15日	上尾市上町二丁目14番19号に新庁舎完成(鉄筋コンクリート造2階一部3階建 敷地面積1204.50㎡ 建築面積373.786㎡ 延面積704.679㎡)により移転、業務を開始する。
	9月	1日	消防職員2名を採用、24名となる。
	12月	1日	消防職員3名を採用、27名となる。
		2日	消防署に化学消防ポンプ自動車(いすゞ)を配備する。
昭和41年	4月	1日	消防職員8名を採用、35名となる。
	10月	1日	消防署に東消型救急車(トヨタ)を配備し、救急業務を開始する。
	12月	15日	消防職員1名を採用、36名となる。
昭和42年	4月	1日	消防職員3名を採用、39名となる。
		18日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車(ニッサン・ジュニア)の寄贈を受ける。(火災保険号)
	9月	1日	消防本部に指令車を配備する。
昭和43年	6月	1日	消防職員1名を採用、40名となる。
昭和44年	1月	1日	消防職員1名を採用、41名となる。
	5月	16日	消防署に防災車521型貨物自動車(ダットサン)を配備する。
		15日	埼玉県石油商業組合上尾支部(上尾班)より予防車(トヨペット・コロナ)の寄贈を受け、消防本部予防係に配備する。
	12月	17日	消防署に水槽付消防ポンプ自動車(ニッサン)を配備する。
昭和45年	2月	2日	消防長桜井安太郎氏市防災課長に転出し、後任消防長に天野正三(第2代)が就任する。
	4月	1日	消防職員2名を採用、43名となる。

昭和45年	12月17日	消防署に18m級はしご付消防自動車（ニッサンディーゼル）を配備する。
昭和46年	5月1日	消防職員3名を採用、46名となる。
	12月1日	消防職員3名を採用、49名となる。
昭和47年	3月31日	通信指令室に消防通信指令装置を設置する。
	4月1日	消防職員6名を採用、55名となる。
	10月10日	救急車車庫、鉄骨造平屋建27.945 m ² 、及び待機室鉄筋コンクリート造平屋建76.656 m ² を増築する。
	27日	消防署に救急車3B型（ニッサン・シビリアン）を配備する。
昭和48年	4月1日	消防職員14名を採用、66名となる。
昭和49年	4月1日	上尾市大字中分78番地に西分署を開署する。水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、職員21名をもって業務を開始する。
	1日	消防職員16名を採用、82名となる。
	6月27日	消防本部警防課、西分署に連絡車（ニッサン・バイオレット）2台を配備する。
	11月15日	西分署水槽付消防ポンプ自動車（ニッサン）更新する。
	25日	西分署に救急車3B型（ニッサン・シビリアン）を配備する。
昭和50年	4月1日	消防職員19名を採用、101名となる。
	26日	消防本部に指令車（ニッサン・スカイライン）を配備する。
	11月19日	西分署に消防ポンプ自動車（ニッサン）を配備する。
	12月24日	消防署に化学消防ポンプ自動車（ニッサン）を配備する。
昭和51年	10月15日	消防本部に予防車（ニッサン・スカイライン）を配備する。
	11月1日	消防長天野正三氏退職、後任消防長に上尾市長友光恒（第3代）が就任する。
昭和52年	4月1日	消防職員5名を採用、104名となる。
	12月20日	消防署消防ポンプ自動車（ニッサン）更新する。
昭和53年	2月23日	消防署に救助工作車（ニッサン）を配備する。
	4月1日	消防職員10名を採用、112名となる。
昭和54年	3月15日	消防署に救急車2B型（トヨタ・ハイエース）を配備する。
	22日	東分署に水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・フォワード）を配備する。
	4月1日	上尾市大字瓦葺1139番地に東分署を開署する。水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、職員21名をもって業務を開始する。
	1日	消防職員12名を採用、123名となる。
	7月14日	東分署に連絡車（ニッサン・ブルーバードバン）を配備する。
	18日	信和デジタル機器㈱より救急車2B型（トヨタ・ハイエース）の寄贈を受け、東分署に配備する。
昭和55年	1月1日	上尾市長友光恒氏消防長兼務を解き、後任消防長に野原竹次郎（第4代）が就任する。
	4月1日	消防職員9名を採用、130名となる。

昭和55年	11月29日	東分署に消防ポンプ自動車（いすゞ・エルフCD—I型）を配備する。
	12月3日	消防署に緊急物資輸送車（ニッサン・バイソン1.5t）を配備する。
昭和56年	4月1日	消防職員5名を採用、133名となる。
	11月1日	消防長野原竹次郎氏退職、後任消防長に河村吉之助（第5代）が就任する。
	11月25日	西分署に救急車2B型（トヨタ・ハイエース）を配備する。
昭和57年	7月1日	警防車（トヨタ・カローラバン）更新する。
昭和58年	4月1日	消防職員17名を採用、150名となる。
昭和58年	10月14日	指令車（ニッサン・グロリア）更新する。
	11月1日	消防本部・消防署庁舎を上尾市大字上尾村537番地に新築移転する。鉄筋コンクリート造2階建、敷地面積7768.8㎡、延面積2689.06㎡、付属施設訓練塔A塔10階建29.5m、B塔3階建10.2mをもって業務を開始する。
	1日	消防職員1名を採用、151名となる。
	12月10日	消防署はしご付消防自動車（ニッサンディーゼル・46m級）更新する。
昭和59年	4月1日	消防職員11名を採用、158名となる。
	23日	上尾ライオンズクラブより業務用バイク（ホンダ・ジョイ）の寄贈を受ける。
	7月4日	西分署連絡車（トヨタ・ランドクルーザー）更新する。
昭和60年	3月6日	消防庁長官より竿頭綬（消防本部・署・消防団）を授与される。
	4月1日	消防職員5名を採用、163名となる。
	9月30日	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車（三菱）の寄贈を受け、西分署に配備する。
	10月12日	予防車（ニッサン・ホーミーロングバン）更新する。
	12日	上尾中央ライオンズクラブより予防査察指導車（ダイハツ・ハイゼット）の寄贈を受ける。
	11月22日	上尾ライオンズクラブ及び上尾中央ライオンズクラブより、火災予防横断幕2枚の寄贈を受ける。
昭和61年	9月1日	上尾西ロータリークラブより業務用バイク（ホンダAF13）の寄贈を受ける。
昭和62年	4月1日	消防職員8名を採用、168名となる。
	28日	消防署救急車2B型（ニッサン・キャラバン）更新する。
昭和63年	3月17日	南分署に水槽付消防ポンプ自動車（ニッサン・コンドル）を配備する。
	26日	上尾ライオンズクラブより火災予防横断幕の寄贈を受ける。
	4月1日	消防職員11名を採用、177名となる。
	4月15日	南分署を開署する。はしご付消防自動車1台を配備し、水槽付消防ポンプ自動車1台、職員15名をもって業務を開始する。
	6月16日	上尾武蔵ライオンズクラブより広報車（トヨタ・カローラバン）の寄贈を受ける。

	7月26日	日本消防協会より救急車2B型(ニッサン・キャラバン)の寄贈を受け、南分署に配備する。
	8月24日	南分署に連絡車(ダイハツ・ハイゼット)を配備する。
	10月23日	上尾中央ライオンズクラブより屋内消火栓操法大会用優勝旗の寄贈を受ける。
	11月27日	緊急物資輸送車(ニッサン・コンドル)更新する。
平成 元年	3月29日	東分署用救急車2B型(ニッサン・キャラバン)更新する。
	4月 1日	消防長河村吉之助氏退職、後任消防長に豊村賢一(第6代)が就任する。
	1日	消防職員11名を採用、188名となる。
	6月 9日	上尾北ロータリークラブより可搬式ウインチ1台の寄贈を受ける。
	7月11日	東分署連絡車(ニッサン・ブルーバードバン)更新する。
	7日	(株)旭計器より連絡車(ホンダ・アスコット)の寄贈を受ける。
	12月20日	上尾西ロータリークラブより可搬式ウインチ1台の寄贈を受ける。
	26日	南分署に消防ポンプ自動車(いすゞ・エルフCD—I型)を配備する。
平成 2年	4月 1日	消防職員7名を採用、195名となる。
	20日	上尾北ロータリークラブより火災予防懸垂幕の寄贈を受ける。
	10月17日	上尾・伊奈危険物防火安全協会より屋内消火栓操法大会用準優勝杯の寄贈を受ける。
	24日	上尾西ロータリークラブより火災予防横断幕の寄贈を受ける。
	29日	西分署消防ポンプ自動車(いすゞ・エルフCD—I型)更新する。
	12月20日	消防署化学消防ポンプ自動車(ニッサンディーゼル化II型)更新する。
平成 3年	3月18日	日本損害保険協会より救急車2B型(ニッサン・キャラバン)の寄贈を受け、西分署に配備する。
	4月 1日	消防職員5名を採用、197名となる。
	9月30日	警防車(いすゞ・ファージ)更新する。
	10月17日	指令車(ニッサン・セドリック)更新する。
	28日	南分署はしご付消防自動車(ニッサンディーゼル・30m級)更新する。
平成 4年	4月 1日	消防職員3名を採用、198名となる。
	1日	消防長豊村賢一氏市福祉部長に転出し、後任消防長に粕谷正之助(第7代)が就任する。
	5月18日	上尾・伊奈危険物防火安全協会より火災予防横断幕の寄贈を受ける。
	6月12日	上尾北ロータリークラブより、火災予防懸垂幕の寄贈を受ける。
	11月19日	消防署消防ポンプ自動車(いすゞ・エルフCD—I型)更新する。
	25日	上尾西ロータリークラブより火災予防懸垂幕、横断幕の寄贈を受ける。
	12月15日	上尾ライオンズクラブより火災予防懸垂幕の寄贈を受ける。
平成 5年	1月29日	救助工作車(ニッサンディーゼル)更新する。
	3月 5日	上尾ライオンズクラブより予防車(ニッサン・ホーミーロングバン)の寄贈を受ける。
	4月 1日	消防職員6名を採用、204名となる。

平成 5年11月 9日 上尾ライオンズクラブより火災予防懸垂幕の寄贈を受ける。

12月28日 上尾西ロータリークラブより火災予防懸垂幕、横断幕の寄贈を受ける。

平成 6年 2月 1日 東分署水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼル）更新する。

21日 北分署に水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼル）を配備する。

25日 北分署に連絡車（ニッサン・アベニール）を配備する。

4月 1日 消防職員14名を採用、218名となる。

1日 北分署を開署する。水槽付消防ポンプ自動車1台、連絡車1台、職員15名をもって業務を開始する。

7月28日 西分署連絡車（トヨタ・カローラバン）更新する。

9月28日 上尾中央ライオンズクラブより査察指導車（トヨタ・カルディナバン）の寄贈を受ける。

10月28日 上尾ライオンズクラブより火災予防横断幕の寄贈を受ける。

平成 7年 2月27日 消防署救急車を高規格救急車（ニッサン・パラメディック）に更新する。

8日 上尾西ロータリークラブより火災予防懸垂幕の寄贈を受ける。

4月 1日 消防職員9名を採用、226名となる。

1日 消防長粕谷正之助氏退職、後任消防長に倉谷孝一郎（第8代）が就任する。

10日 東分署消防ポンプ自動車（MX-I、CD-I型）更新する。

29日 西分署救急車を高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）に更新する。

12月13日 北分署に消防ポンプ自動車（MX-I、CD-I型）を配備する。

18日 消防署水槽付消防ポンプ自動車（ニッサン・コンドル）更新する。

平成 8年 3月14日 南分署連絡車（ニッサン・アベニール）更新する。

18日 上尾西ロータリークラブより防火掲示板の寄贈を受ける。

平成 8年 4月 1日 消防職員6名を採用、230名となる。

29日 消防署広報車（ニッサン・ADバン）更新する。

10月 9日 上尾ライオンズクラブより防火掲示板の寄贈を受ける。

11月15日 南分署消防ポンプ自動車（ニッサン・コンドルCD-I型）更新する。

12月16日 南分署救急車を高規格救急車（トヨタ・ハイメディック4WD）に更新する。

平成 9年10月22日 消防署積載車（ニッサンディーゼル）更新する。

11月20日 上尾北ロータリークラブより火災予防懸垂幕の寄贈を受ける。

平成10年 4月 1日 消防長倉谷孝一郎氏退職、後任消防長に日吉孝（第9代）が就任する。

1日 消防職員3名を採用、229名となる。

8月21日 消防本部連絡車（トヨタ・プリウス）更新する。

平成11年 3月 4日 東分署救急車を高規格救急車（ニッサン・エルブランド）に更新する。

19日 三井金属鉱業株式会社より水難救助用沈錘の寄贈を受ける。

4月10日 上尾北ロータリークラブより火災予防横断幕の寄贈を受ける。

7月 6日 上尾西ロータリークラブより火災予防横断幕の寄贈を受ける。

11月20日 上尾中央ライオンズクラブより火災予防横断幕の寄贈を受ける。

平成12年	1月26日	上尾中央ライオンズクラブより火災予防懸垂幕の寄贈を受ける。
	2月14日	西分署水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼル）更新する。
11	1月20日	消防署はしご付消防自動車（ニッサンディーゼル・38m級）更新する。
	24日	北分署救急車を高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）に更新する。
平成13年	4月1日	消防長日吉孝氏退職、後任消防長に小川和雄（第10代）が就任する。
	1日	消防職員5名を採用、227名となる。
	6月1日	上尾市消防音楽隊（隊員32名）が発足する。
	9月26日	警防車（ニッサン・キャラバン）更新する。
12	2月7日	日栄プラスチック株式会社よりヘルメットの寄贈を受ける。
平成14年	4月1日	消防長小川和雄氏退職、後任消防長に大川原富夫（第11代）が就任する。
	1日	消防職員5名を採用、230名となる。
	5月31日	蓮田市在住内田好明氏より腕用ポンプの寄贈を受ける。
	9月6日	上尾西ロータリークラブより蘇生訓練用マネキン（乳児・大人）の寄贈を受ける。
	平成15年	2月11日
28日		南分署水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼルI-A型、災害対応特殊水槽付）更新する。
4月1日		消防職員5名を採用、232名となる。
9月19日		予防車（ニッサン・キャラバン）更新する。
平成16年		4月1日
	1日	消防職員10名を採用、237名となる。
	7月13日	新潟・福島豪雨発生、緊急援助隊として消火小隊1隊、救急小隊1隊、積載車（ボート搬送）を新潟県見附市、三条市に派遣する。
	23日	新潟県中越地震発生、緊急援助隊として救急小隊1隊を新潟県小千谷市に派遣する。
平成17年	1月26日	消防署高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新する。
	10日	平方分署に水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼルI-A型）を配備する。
	18日	平方分署に連絡車（トヨタ・ハイラックスサーフ）を配備する。
	30日	消防署に指揮車（ニッサン・キャラバン）を配備する。
	4月1日	消防長大木三郎氏退職、後任消防長に濱野秀彦（第13代）が就任する。
	1日	消防職員12名を採用、246名となる。
	1日	平方分署を開署する。水槽付消防ポンプ自動車1台、連絡車1台、職員15名をもって業務を開始する。
	9月1日	消防署分署名称を変更する。西分署を大石分署、東分署を原市分署、南分署を大谷分署、北分署を上平分署とする。

平成18年	2月13日	大石分署消防ポンプ自動車(ニッサンディーゼルCD-I型)更新する。
	14日	消防署非常用消防ポンプ自動車(ニッサンディーゼルCD-I型)更新する。
	4月1日	消防長濱野秀彦氏退職、後任消防長に小峯義雄(第14代)が就任する。
	1日	消防職員10名を採用、252名となる。
	7月3日	査察指導車(トヨタ・サクシードワゴン)更新(リース)する。
平成19年	18日	前指令車を総務車(ニッサン・ティアナ)として更新(リース)する。
	9月1日	消防署物資輸送車(トヨタ・トヨエース)、指令車、大石分署、大谷分署、上平分署連絡車(トヨタ・サクシードワゴン)更新(リース)する。
	2月15日	大石分署高規格救急車(トヨタ・ハイメディック)更新する。
	4月1日	消防職員8名を採用、258名となる。
	6月1日	消防本部連絡車(トヨタ・エスティマ)更新(リース)する。
平成20年	11月26日	西消防署に救助工作車(ニッサンディーゼル)を配備する。
	1月1日	大石分署を廃止し、西消防署を開署する。水槽付消防ポンプ自動車1台、ポンプ車1台、救助工作車1台、高規格救急車1台、連絡車1台、職員37名をもって業務を開始する。
	1日	消防署名を旧消防署から東消防署に改め、2署4分署体制となる。
	2月7日	大谷分署高規格救急車(トヨタ・ハイメディック)更新する。
	28日	東消防署消防ポンプ自動車(ニッサンディーゼルCD-I型)更新する。
平成21年	4月1日	消防長小峯義雄氏退職、後任消防長に関根千春(第15代)が就任する。
	1日	消防職員10名を採用、260名となる。
	1月8日	原市分署高規格救急車(トヨタ・ハイメディック)更新する。
	9日	東消防署救助工作車(ニッサンディーゼル)更新する。
	3月2日	原市分署連絡車(トヨタ・サクシードワゴン)更新(リース)する。
平成22年	4月1日	消防長関根千春氏退職、後任消防長に栗原実(第16代)が就任する。
	1日	消防職員6名を採用、259名となる。
	11月2日	東消防署非常用高規格救急車(トヨタ・ハイメディック)更新する。
	12月14日	原市分署水槽付消防ポンプ自動車(ニッサンディーゼルI-A型)更新する。
	1月15日	上平分署水槽付消防ポンプ自動車(ニッサンディーゼルI-B型・災害対応特殊水槽付)更新する。
平成22年	4月1日	消防職員7名を採用、260名となる。
	22日	上平分署高規格救急車(トヨタ・ハイメディック)更新する。
	7月26日	東消防署化学消防ポンプ自動車(日野II型)更新する。
	9月1日	原市分署消防ポンプ自動車・上平分署消防ポンプ自動車(日野CD-I型)更新する。
	24日	東消防署水槽付消防ポンプ自動車(UDトラックスI-B型・災害対応特殊水槽付)更新する。

平成23年	3月10日	大谷分署はしご付き消防自動車を屈折はしご付消防自動車(日野2.5m)に更新し、西消防署に配備する。
	11日	東北地方太平洋沖地震発生、緊急消防援助隊として消火小隊1隊を岩手県陸前高田市に派遣する。3月26日より救急小隊1隊を福島県福島市・本宮市に派遣する。
平成23年	4月1日	消防長栗原実氏退職、後任消防長に成井正美(第17代)が就任する。
	1日	消防職員4名を採用、258名となる。
平成24年	4月1日	消防職員9名を採用、260名となる。
	6月11日	西消防署大谷分署消防ポンプ自動車(日野CD-I型)更新する。
平成25年	3月18日	総務省消防庁より、3t級重機(コマツ)及び重機搬送車(日野)を貸与される。(緊急消防援助隊・震災対応特殊車両)
	4月1日	消防長成井正美氏退職、後任消防長に中村進(第18代)が就任する。
	1日	消防職員3名を採用、260名となる。
	1日	上尾市・伊奈町消防指令センターの共同運用を開始する。
平成26年	4月1日	消防長中村進氏退職、後任消防長に加藤一美(第19代)が就任する。
	1日	消防職員12名(うち女性消防士1名)を採用、260名となる。
	7月1日	警防車(トヨタ・ハイエース)更新(リース)する。
	8月1日	消防本部連絡車(トヨタ・ノアハイブリッド)更新(リース)する。
平成27年	1月8日	平方分署高規格救急車(トヨタ・ハイメディック)更新する。
	6日	西消防署水槽付消防ポンプ自動車(日野I-A型)更新する。
	4月1日	消防職員7名を採用、260名となる。
	7月15日	上尾・伊奈防火安全協会より火災予防横断幕の寄贈を受ける。
	12月28日	平方消防友の会より火災予防懸垂幕の寄贈を受ける。
平成28年	1月26日	西消防署及び非常用高規格救急車(トヨタ・ハイメディック)更新する。
	4月1日	消防長加藤一美氏退職、後任消防長に田島孝一(第20代)が就任する。
	1日	消防職員11名を採用、260名となる。
	12月20日	大谷分署高規格救急車(トヨタ・ハイメディック)更新する。
	21日	西消防署に資機材搬送車(日野デュトロ)を配備する。
平成29年	4月1日	消防職員13名を採用、260名となる。
平成30年	2月2日	原市分署高規格救急車(トヨタ・ハイメディック)更新する。
	27日	大谷分署水槽付消防ポンプ自動車(日野・レンジャー)更新する。
	4月1日	消防職員7名を採用、260名となる。
	8月1日	上尾市平方消防友の会より消防バックパネルの寄贈を受ける。
	10月5日	埼玉中央生コン協同組合、串橋建材株式会社と大規模災害発生時の消火用水搬送協力に関する協定を締結する。
	5日	埼玉県解体業協会と災害時における消防活動の協力に関する協定を締結する。
平成31年	2月21日	東消防署高規格救急車(ニッサン・パラメディック)更新する。
	3月26日	東消防署指揮車(トヨタ・ハイエース)更新する。

平成31年	4月 1日	消防職員6名を採用、260名となる。
令和 元年	7月11日	株式会社セブン-イレブン・ジャパンとコンビニエンスストアへの自動体外式除細動器設置に係る基本協定を締結し、市内31カ所に設置する。
令和 2年	1月 9日	上平分署高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新する。
	4月 1日	消防職員11名を採用、267名となる。
	1日	大谷分署に新規高規格救急車を配備し2台体制となる。
	9月16日	東消防署はしご付き消防自動車（30m級）（日野・プロフィア）更新する。
令和 3年	1月27日	平方分署水槽付消防ポンプ自動車（いすゞフォワードI—A（ホース延長用資機材有））更新する。
	4月 1日	消防長田島孝一氏退職、後任消防長に矢部広巳（第21代）が就任する。
	1日	消防職員9名を採用、267名となる。
	10月 8日	上尾・伊奈防火安全協会より殺菌線ロッカーとCO ₂ モニターの寄贈を受ける。
	11月30日	消防本部調査車（トヨタハイエース）更新する。
令和 4年	2月 1日	西消防署消防ポンプ自動車（いすゞCD—I型）更新する。
	4月 1日	消防長矢部広巳氏退職、後任消防長に関口一夫（第22代）が就任する。
令和 5年	1日	消防職員8名を採用、267名となる。
	3月23日	非常用ポンプ自動車（日野CD—I型）更新する。
	3月31日	上尾市・伊奈町消防指令センターの共同運用を終了する。
	4月 1日	上尾市・伊奈町消防広域化運用開始。
	1日	消防長関口一夫氏退職、後任消防長に中山一之（第23代）が就任する。
	1日	消防職員16名を採用、328名となる。

